クマさん会山行レポート

2015 年 9 月 21 日（月）
秋の大雪山（４日目）

～Report　by　根岸～（Photo by 参加者の皆さん）

大雪山ツアー最終日、夕刻の旭川空港からのフライト前に美瑛、富良野、旭川を目いっぱい楽しんだ。
参加者は能勢さん以下大雪山参加者７名、ドライバーは山下さんである。

＜グランドホテル大雪にてツアー出発準備＞

グランドホテル大雪の玄関から見た旭岳、
昨日までと変わって「素晴らしい」天気であった。
ドライバーの山下さんによると、この時期に
この晴天は珍しいとの事であった。

一行は７時の朝食時間を待ちきれず、
食堂前に集まる。
旭岳周辺のジオラマに見入る。
旭岳ケーブル側からの旭岳西側斜面は、
想像以上に急峻であった。
昨日の風雨の中では頂上登頂と下山を
避けたルート選択の正しさを
再確認した。

各部屋別の食堂入場券だったので、
しんがりの能勢さん、吉松さん組が揃い、
全員バイキング朝食を楽しんだ。
小野寺さんは、「納豆＋ヨーグルト」に
初挑戦した。

９時出発の予定であったが、
ドライバーの山下さんが７時半にはホテル
に来てくれたため、
１９日夕刻に預けた荷物を受け取り、各自
搭乗時の預け入れ荷物と持ち込み荷物に
詰め替え後、ホテル前に８時２０分に
集合し恒例の記念写真を撮影した。
小野寺さんは長靴を装着。

＜グランドホテル大雪出発＞

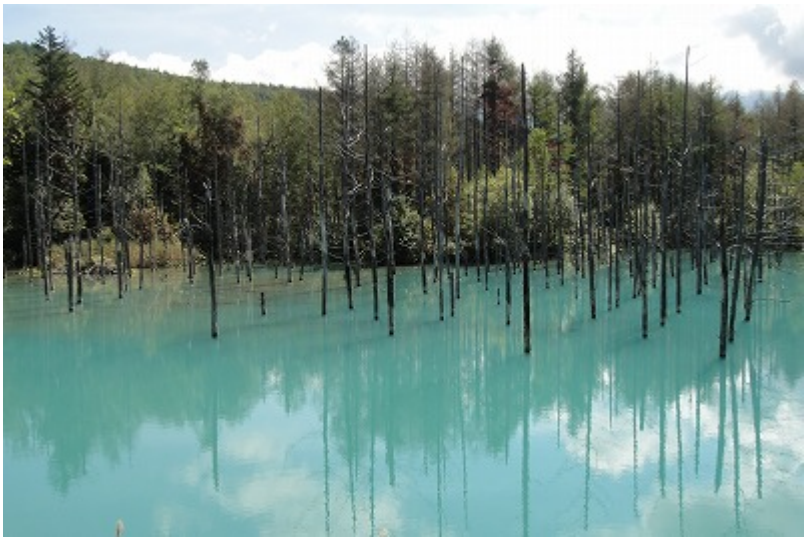
８時３０分に、タクシーに分乗し出発した。
北海道の一直線の道路を走って行く。
山下さんは、
最適路を自分の経験と勘で選択している為、
我々には何処を走っているか分からない。

やっと、美瑛郊外の「青い池」に向っている
事が分かった。
道端の「小豆やビート」の黄色が
綺麗だ。

＜美瑛　青い池＞

最近、注目された美瑛の青い池を訪問した。
防災砂防工事中の美瑛川に突如として生まれた
神秘的な池。
水が青い理由は、美瑛川に十勝岳の地下水が
混ざり、コロイドという成分が
できたためだと考えられている。

１０時に到着したが駐車場渋滞のため、
山下さんを残して車を降り、
入口まで約１０分歩いた。
３０分後には、その渋滞が長々と
続いていた。(早く来て大正解)



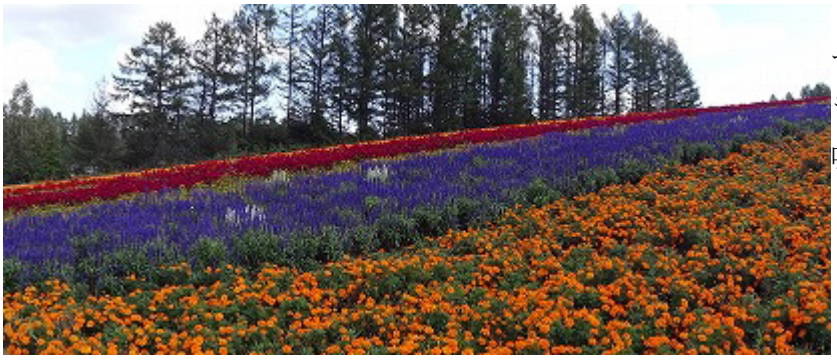
各人思い思いのアングルで、晴天の
青い池を撮影した。
（この作品群は、ごく一部である）

青い池をバックに全員で記念撮影した。
１０時３０分出発。

１０時５０分、山下さんに道路沿いの
野菜直売店に立ち寄ってもらった。
朝捥ぎトウモロコシ（ゴールドラッシュ、
ピュアホワイト：各１４０円)、
坊ちゃんかぼちゃ（１５０円）など
多い方は６本以上リュックに詰め込んだ。
宅配すると送料の方が高く付く。

<美瑛　四季彩の丘>

１１時１０分過ぎ到着：
其々、写真撮影に飛び出した。
小野寺さんは、長靴で長時間歩くのは
辛いらしく、「バギーに乗りたい」と
のたまったが、幹事が許可せず。



９月は、サルビア(赤、青、白)、ケイトウ、
マリーゴールド(黄色)などが咲き誇っていた。
ラベンダーは８月までが最盛期で、
咲いた跡が残って居た。

一番、遠くまで行ったのは、高橋雄さんで、
幹事が携帯電話で呼び戻した。
このレポートの最後に、パノラマ写真を載せる。

ポスターのような、写真が出来上がっている。

日本の田園風景の代表とされる
広い大地が広がる

下は、中島さん撮影のメロン味の
アイスクリーム。

＜美瑛から旭山動物園へ向かう＞

山下さんの紹介で、旭山動物園の近くの
旭川ラーメンの店に立ち寄った。
この直後、小さな事件が起きたが、
能勢さんの尽力で、
最小限のインパクトで解決した。
(駐車位置が少し前だったら、
サイクリング車も難なく通れたのに！)

店主お勧めの醤油ラーメン（７００円也）

＜旭山動物園＞

１３時半から１６時
旭山動物園は、沢山の工夫が見られた。
２時間余りが、あっという間に過ぎ去った。
夏の間は、「ペンギンパレード」が
開催されないが、その分
各館で楽しい野外展示を楽しめた。

入場券に印刷されている動物たちも、
それぞれ違っていた。

動物園特製のお土産もあった。
中島さんお勧めの蔵生など

最初に訪れたのは、
オランウータン舎で、
『もぐもぐタイム』という、
飼育員が餌を与えながら、
解説する時間帯であった。

「９６％の DNA は人間と同じ」とか？

メスの子供をお腹に抱えて、餌をとる
オランウータン。

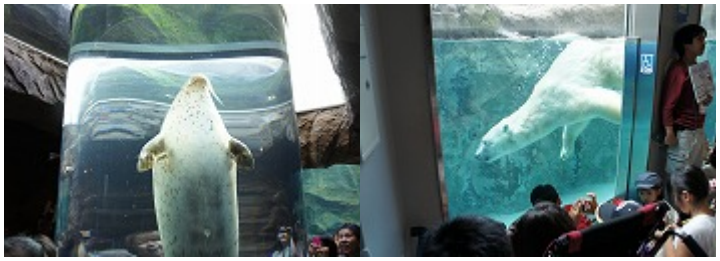
「次の子供が出来る４歳ぐらいまで、
母親と過ごす」とか。

カピバラ：「まったりと過ごす、まるで時間が止まっているような、癒し系代表選手」
レッサーパンダ：「名物のつり橋で寝そべっていた」

クモザル：「自由に動く尾っぽは、第３の手」

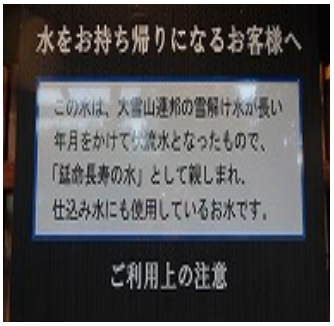
アムールヒョウ：「猛獣館の主のように寝そべる。日本での展示は珍しい」

ペンギン：「人気者」
クロクマ：「盛んに歩き回る」
アザラシ：「円柱水槽を駆けあがる」
ホッキョクグマ：「目玉スポット」
小野寺さんは、新しい靴を履いて遅れて参加。



〈男山酒蔵から空港へ〉

酒好きのメンバーの希望で、
旭川男山酒蔵の資料館を訪問した。
閉館前３０分の１６時半近くからの
訪問だったが、
明治期前の酒造り器具展示や、
酒造り工程の説明など盛りだくさん。
無料利き酒コーナーを名残惜しそうに
去るメンバーもいた。



男山は、寛永年間に伊丹で生まれた
江戸時代から名酒として名高い。

１７時の閉館時に、
山下さんを入れて『締め』の
記念撮影を撮る。

この後、一路空港へ。

小野寺さんの発案で、
山下さんに御礼のレターメッセージ
を手作りし、お渡しした。

夕暮れ迫る中で、空港へ向かう。
１７時４０分到着。

<打上げ式>

空港の３階「ティファニー」にて、
恒例の打上げ式、生ビール５杯、地ビール５杯
その他。

ここでも、男山は人気が有った。
８００円也。

石井さんは、一足先に
１９時３５分発 ANA4788 で飛び立った。
残りの６人は、
２０時１５分発 JAL558 で
旭川空港から羽田空港へ帰郷した。

２１日だけでなく、充実した４日間に
みな満足して帰宅の途についた。
４日間の旅程を無事終了した事に
感謝したい。お疲れ様でした。

＜パノラマ写真：　四季彩の丘＞